



『田舎の力が未来をつくる！
ヒト・カネ・コトが持続するローカルからの変革』
金丸弘美 著
(合同出版 / 1600円+税)

外 国人旅行者の誘致を政策に掲げて取り組んできた結果、日本の2017年のインバウンドは年間2400万人を超え、東京オリンピック

が開かれる2020年には4000万人を目指すとしている。現在も京都市など一部の観光地では増えつつける外国人観光客による混乱が問題となっているが、このまま既存の有名観光地だけで海外からの観光客を受け入れるのにはムリがある。そこで注目されているのが農村観光だ。農村の景観や暮らしをそのまま体験してもらい、日本の田舎を味わってもらおうというのだ。そして、この農村観光を实践するうえで、ぜひとも参考にしてほしいのが本書。これまで地方活性化に関する著作を数多く手掛けてきた金丸弘美氏がイタリアのアグリツーリズムなどをヒントに農村観光を成功させるための発想、実践について論じたもので、地元の観光資源を掘り起こして活用し、人を呼ぶためのノウハウがタップリと詰まっている。

